

いよいよ梅雨明け、高温の日が続きます。
暑熱対策は大丈夫ですか？

暑熱による家畜の生産性の低下を防ぐには、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりが大切です。

考えられる暑熱対策をまとめました。既に取り組んでいるかと思いますが、より効率的な対策となるよう見直してみてください。

○ **畜舎温度の低下による畜舎環境の改善**

- ・畜舎周りに樹木や遮光ネットを設置
- ・屋根・壁・床への断熱材の設置、塗布
- ・換気扇や扇風機での送風
- ・家畜への直接送風・散水



ネットに植物を這わせる

○ **飼養管理の徹底による家畜の負担軽減**

- ・密飼いを避けて、体感温度とイライラの低減
- ・冷たい新鮮な水が十分に飲めるようにする
- ・良質で消化率の高い飼料を与える
- ・飼料給与を涼しい時間帯に行なうとともに給与回数を増やす。
- ・必要に応じてビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う。

家畜の病気に関するお問合せは山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間の連絡は・・・090-5535-8005

土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005または090-5544-7868

暑熱対策事例 1

繁殖母豚350頭飼養農場での取組

分娩豚舎へのクーリング・パッドの設置

○クーリング・パッドの外側に噴霧ノズルが付いており、畜舎内に設置した換気扇により空気を引く。

→パッドから抜けた霧が畜舎内に流入する(下図)。

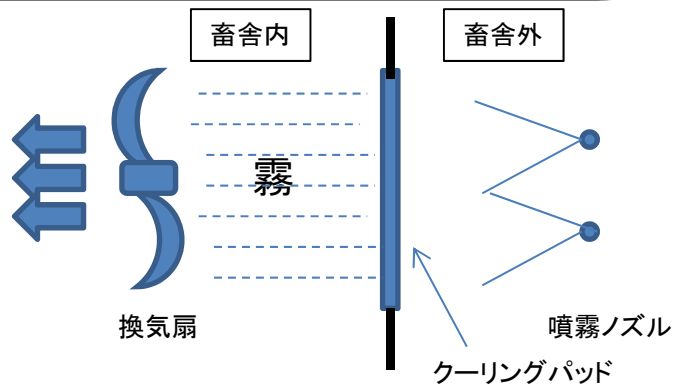
○噴霧ノズルは、12秒間噴射後、7秒間停止する間隙作動。

○クーリング・パッドは29℃で作動するようにセット。

作動時間は午前9時から午後6時まで。

○畜舎中央に順送ファンを設置し、排気口まで風量を維持する工夫。

(効果) パッド作動時の畜舎内温度は、外気温と比較し、入気側・排気側とも平均4℃低かった。



暑熱対策事例 2

採卵鶏4,500羽 養農場での取組

アカザを利用した鶏舎庇蔭(ひいん)

○自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植。

○アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易。

○自生するアカザを用いるため、低コストで簡易。

【注意点】

鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。



(効果) 夏期の死亡羽数が激減

家畜の病気に関するお問合せは山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間の連絡は・・・090-5535-8005

土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005または090-5544-7868